

公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会

2024 年度 実行計画(案)

基本方針	
人財育成委員会 委員長 石塚 健司	
委員会の 目指す未来	意識は常に志高く、組織や社会がより良い方向に進み、新たな可能性やチャンスが生まれ、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが行われる未来となる。
委員会 設置背景	地域の課題解決や社会の発展には広い視野と柔軟な発想を持ち、行動力、決断力を有するリーダーを創出し続ける使命があり、明るい豊かな社会の実現に向けて、メンバー一人ひとりがリーダーと成り得るための人財育成が必要です。
委員会 設置目的	各 LOM で JC 運動を行っていくために、人とのつながりを大切にし、物事を進めていくうえで共感と協力を繰り返し、それが自身の経験値となり、やりがいを感じていただきます。目的の共有、学びの追求、継続的な挑戦と振り返りを通じて、メンバー一人ひとりは組織の成長を促します。

① 県内 LOM のすべての会員を対象にした合宿事業の実施

背景	各 LOM 内で事業構築し、学びや経験が得られる一方、人とのつながりや共感をし、協力していくことで、更に事業の価値が高まります。ブロック協議会のスケールメリットを生かし、他 LOM とのコミュニケーションを重視することで、新たな育成につなげるべき現状があります。
目的	他 LOM のメンバーとのコミュニケーションを重視し、共感と協力を促進します。利他の精神を持ち、覚悟を持った行動により志高まる意識変革となることが目的です。
推進体制	連携パートナー:公益社団法人日本青年会議所 参加対象者:各 LOM において組織の中核を担う会員及びアカデミー会員(23LOM で 100 名)
実施日	2024 年 04 月
施策の詳細	他の LOM メンバーと共通の目標達成のために、合宿を行いたいと考えております。同じ時間を共有することで共に過ごした経験を通して共感と協力を図ります。チームワークを促進することで相手の意見やアイデアを尊重し、利他の精神を育みます。

② 各エリア内の事業においてアカデミー会員の育成を目的とした連携事業の推進・支援

背景	明るい豊かな社会をつくる上でメンバー一人ひとりの育成が重要であります。茨城県内においてアカデミー会員が増加傾向にある中で、組織における会員の育成に課題を抱えている現状があります。組織をより強固なものにし、地域への運動を効果的に行うためには未来を担うアカデミー会員の JAYCEE としての意識醸成が必要です。
目的	アカデミー会員が組織に対して自分ごととして捉えられるよう成長し、同じ境遇の同志と、実体験を通して一つの物事を成し遂げ、人間関係が築かれることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:各 LOM 参加対象者:アカデミー会員 23LOM より 2 名～4 名
実施日	2024 年 02 月～2024 年 09 月
施策の詳細	各エリアの LOM の事業にアカデミー会員によるブース出展させていただきます。企画から実施・検証までの機会を提供いたします。当委員会がアカデミー会員の企画・設営の補助となり運営していき、事業をとおしてアカデミー会員同

	士の絆が生まれることで新たな人間関係が築かれ、意識醸成と成長の機会を提供いたします。
--	--

③ 理念共感拡大グランドデザインの推進

背景	茨城ブロック協議会の会員数の推移をみると、入会者数は増加傾向にある一方、退会者数も増加傾向にあります。JC の理念を共感し、入会したくなる組織へ、また続けたいくなる組織へ変化していかなければ衰退化してしまう現状があります。
目的	JC の理念を理解することで事業に対する参画意識を向上させ、組織における適切な新陳代謝を促すことを目的とします。
推進体制	連携パートナー:公益社団法人日本青年会議所 参加対象者:すべてのメンバー
実施日	2024 年 02 月～2024 年 09 月
施策の詳細	2024 年度は退会者を防ぐ取り組みとして、理念浸透サーベ이를全メンバーに行います。その結果に合わせ、理念共感セミナーをプロモーターを通して行い、青年会議所の理念を浸透させます。またこれらの結果をもとに JC プログラムを推進していきます。LOM の方から依頼がありましたら、人財育成委員会が窓口となり JC プログラムを開催いたします。年間を通してカリキュラムの情報共有を行い、支援していくことで持続可能な人財育成を行える組織となります。

④ 茨城ブロック協議会役員を対象にした研修事業の実施

背景	協議会への出向はさらなる自己の鍛錬、組織運営に対する見識を深めることへの絶好の機会です。しかしながら、その付加価値は組織の成熟度により大きく左右されてしまう要素が多く占めており、提供できる機会に相違が生まれてしまう現実があるなかで、協議会として不変的な組織であり続けるための意識改革が必要です。
目的	成熟された組織になることで、不変的な成長の機会を出向者に提供することができ、洗練された会員が組織のブランディングにつながることを目的とします。
推進体制	連携パートナー:茨城 JC シニアクラブ 参加対象者:茨城ブロック協議会役員
実施日	2024 年 01 月～2024 年 10 月
施策の詳細	茨城ブロック協議会役員を対象としたセミナーを行い、役員としての気概、責任を醸成することでより成熟された組織へと成長することができます。組織全体のブランディングにもつながることを意識し、事業構築することで未来の組織づくりの一助になります。